#worldipday

ケーススタディ/プロファイルのガイドライン

個人の発明者、企業、その他組織が、地域的な環境課題に取り組むためにどのように革新的な新しい手段を開発しているかを示す事例の多くは、地球規模の課題にも適用することができます。また、それらは、環境に優しい未来への道のりを切り開く私たちの集団としての能力、そして、その道のりを進んでいく際に知的所有権が担う役割を強力に暗示しています。

WIPO は今年、加盟国およびその他ステークホルダーに、グローバルな課題に対応するローカルな解決策を開発している注目すべき人々についての情報を共有するよう呼びかけています。

キャンペーンで使用するケーススタディ/プロファイルの作成にあたり、推奨されている構成および記載すべき情報の要点について、以下、箇条書きでまとめました。ケーススタディは、メール（worldipday@wipo.int）で「世界知的所有権の日」チームに提出してください。選ばれたケーススタディは、「世界知的所有権の日」のウェブサイトに掲載されます。加盟国もまた、該当のケーススタディまたはプロファイルを自身のキャンペーン関連のウェブページに掲載できます。

- **分野：セクター：**（例えば、農業、エネルギー、輸送など）
- **発明者/起業家の名前**
- **発明の一般情報：**
  - テクノロジーの名前。
  - テクノロジーの高水準記述（例えば、何をして、どのように機能するかなど）。
  - テクノロジーが解決する課題（可能であれば、テクノロジーが適用されるグローバルな課題に関する統計およびその他情報を記載する）。

- **イノベーションおよび知的所有権**
  発明者/起業家からの以下についてのコメント:
  - 何が発明/イノベーションのきっかけとなったか。
  - イノベーションがどのように知的所有権によって保護されているか。
  - 環境に優しい未来を築くためになぜこのイノベーションが重要なのか。
  - 作品を知的所有権で保護することが発明者にとってなぜ重要なのか。
  - 発明/イノベーションの開発にあたり最大の課題は何だったか。
  - 政策立案者がどのようにイノベーションを支援できるか。そして、この道のりにおいてイノベーターを支援することがなぜ重要なのか。

- **行動を起こす：**
  発明者/起業家に以下を支持する行動を起こすよう依頼する：
  - 環境に優しい未来
  - 「2020 年世界知的所有権の日」キャンペーン

- **影響：**
  発明がどのように使用され、環境/人々の生活にどのような影響を及ぼすかについて詳細な情報を記載する。

- **ビジュアル：**
  - 高解像度（300dpi）の画像を用いてケーススタディ/プロファイルについて解説する。
  - 「2020 年世界知的所有権の日」キャンペーンの販促を目的とした WIPO による画像の使用許可を確認すると同時に、写真提供者の情報（例えば、© [撮影者/企業の名前] または「[企業の名前]提供など」を記載する。
  - フル HD ビデオ画像（可能なら、ビデオ制作の注記参照）
  - その他のビジュアル要素（例えば、グラフ、情報画像、ポスター、特許図面、図表など）も使用可能。